



土屋

防災ニュース

2025.6 Vol.7

Writer : Kaori Hara
Yumiko Komoto

毎年のように各地で発生する集中豪雨や台風による水害。被害を最小限にするためには、日頃からの備えがとても大切です。このニュースでは、いざという時に慌てず対応できるように、普段からできる水害対策の工夫や情報の集め方、身を守る行動のヒントなどをお知らせします。ご自身やご家族、クライアントや地域の皆さんの安全のため、ぜひ参考にしてください。

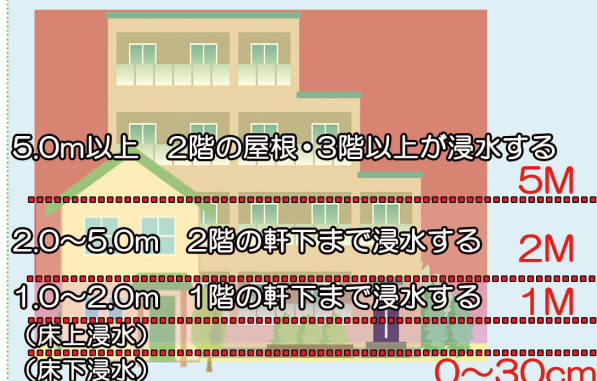


【浸水深と浸水程度の目安】

ちょっとまった

「少しなら大丈夫」は危険です！

見た目よりも水は強い力を持っています



大雨や洪水時、道路が冠水すると「水の深さ」や「流れの速さ」によって、「人の動き辛さ」や「命の危険性」が大きく変わります。

＜浸水の深さ＞

10cm程度：靴が浸かり歩きづらくなるが、基本的に移動は可能

30cm程度：大人の膝下までつかる（床下浸水）。足元が見えづらく、段差や側溝、マンホールなどに気づかず転倒・転落の危険。子どもや高齢者、身体の不自由な人には、「危険な水深」

50cm程度：成人でも膝上まで浸かり、歩行は困難（床上浸水）。流れがある場合は、転倒や流されるリスクが急増

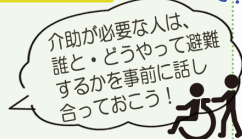
70cm程度：太もも～腰にかかる深さ。流れがあると、ほぼ歩行不可能。助けがなければ、動けなくなる人も多い

！避難の判断、持っていくと良いものは？

ご近所連携！

高齢者・障害者はレベル3程度で避難

- ・介助が必要だったり、体が動かしづらかったりする事が想定される為、安全な移動に時間が必要です
- ・急な増水や停電・通行止めなどで逃げられなくなる前に動く必要がある



情報収集アプリ等の紹介（防災速報など）

＜現地の状況が見えるライブ映像ツール＞

- ・河川カメラ（実際の水位や周囲の様子をリアルタイムで確認できる）

＜リアルタイム危険度マップ＞

- ・キキクル（雨雲の動き、台風発生情報、線状降水帯発生情報）

＜無料のプッシュ通知機能アプリ＞

- ・Yahoo!防災速報（避難情報・地震・気象情報が届く）
- ・NHKニュース 防災アプリ（災害速報とライブ配信も充実）



備えておきたい水害防災グッズ（持出し用）

防水対策：スマホ用防水ケース、雨具、リュック用防水カバー、ビニール袋

非常用品：飲料水、ライト、ラジオ、モバイルバッテリー、ステッキ、カイロ、アルミシート、ラップ、タオル、現金（小銭）

衛生用品：マスク、ウェットティッシュ、ティッシュ、常用薬、生理用品、非常用トイレセット（ビニール、凝固剤、トイレトペーパー）

備蓄食料：すぐに食べられるもの

！水害時に気を付けたいポイント

- ・避難は明るいうちに！暗くて周囲が見えないと危険
- ・車での避難は慎重に
30cmの水で車は動けなくなる
50cmの水深で浮き上がる可能性がある
車内閉じ込めや水圧でドアが開かないケースも！
- ・感電のリスク
浸水した場所では、電気製品やコードに触れない！
ブレーカーは早めに落とす（可能なら避難前に）
- ・浸水した水で「手や傷口を洗う」などはNG



水害訓練の様子をYouTubeで見れます

2018年の西日本豪雨で甚大な被害を受けた岡山県真備町。その真備町から約25キロ、車で一時間程度の場所にある岡山市で、ご家族3人全員が視覚障害のある家庭で、地域の民生児童委員さんも加わって頂き、水害に備えた避難訓練が実施されました。



視覚障害者の訓練の様子



！新安否確認システム - Vjica(ヴジカ) の運用スタート

職員やクライアントの安否を迅速かつ正確に確認することは、事業継続する為に欠かせない要素です！この度、株式会社土屋では独自のシステム開発を行い、所属する全社員を対象とした安否確認システムVjica(ヴジカ)を2025年2月より運用しています。

！災害発生後の優先順位

1. 「ヴジカ」からのメールにあるgoogleフォームに安否を返信。
2. 「ヴジカ」からの返信が難しい場合は、Chatworkや電話、災害伝言ダイヤル・Web伝言板171などを使用し、必ず管理者に安否を伝えてください。

【土屋防災委員会】の

をフォロー
お願いします！

アカウント登録
をして、防災に
関する様々な
情報GET !!